

学校自己評価表（年間計画）

学校運営計画

学校運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学科の特色を踏まえ、充実した商業教育・情報教育の充実を図り、社会で評価される資格の取得等とおして、生徒の自己実現を目指す。 ・国際理解教育、英語教育の充実を図り、豊かな国際感覚を持った生徒の育成をおして、生徒の自己実現を目指す。 ・充実した部活動や学校行事をおして、高い目標に向かって挑戦する心の育成や、他者と協力して取り組む姿勢や自主性・自発性の育成を図る。 									
教育目標	<p>1 心身ともに健全で個性豊かな人間を育成する。</p> <p>2 互いの人格を尊重し、正義を愛し、よりよい社会の形成者を育成する。</p> <p>3 国際的な教養と産業経済人として必要な知識技能の習熟と見識の高揚を図る。</p> <p>4 高い知性と徳性を有し、国際感覚豊かな人材の育成に努める。</p>									
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標								
一昨年に完成した新校舎で、教職員・生徒が協力して取り組み、円滑な学校生活を送ることができた。	授業内容の充実と学力向上	高大接続改革元年の生徒の入学や平成30年3月告示の高等学校学習指導要領施行を踏まえ、積極的に授業公開を実施するなど、生徒の実態に合わせた授業の工夫・改善により、生徒の学習意欲を引き出すとともに、授業時間、家庭等における学習時間の確保により、学力の向上を図る。積極的に授業公開を実施するなど、生徒の実態に合わせた授業の工夫・改善により、生徒の学習意欲を引き出すとともに、授業時間、家庭等における学習時間の確保により、学力の向上を図る。								
生徒・保護者アンケートとも絡じて良い結果を得ることができた一方で、悪天候による交通機関の乱れの対応等で厳しい意見をいただく部分もあった。生徒の進路希望達成や部活動等の自己実現でさらに高い成果をあげるため、各教科と学年間の連携強化など、より組織的に取り組むことが課題である。	全職員の協力による生徒指導体制の整備	全職員の共通理解のもと、担任と副任の連携を強め、組織的な生活指導、教育支援などを推進し、生徒の社会性及び自律性の育成に努める。								
	進路実現に向けた指導の充実	3年間の計画的なキャリア教育やきめ細かな個別面談などを実施し、生徒一人一人が適性に応じて進路を選択し、よりよい自己実現ができる能力を養うとともに、進路実現を図るため、分掌と学年が連携して指導に当たる。								
	部活動や生徒会活動等の一層の活性化	部活動や生徒会活動のさらなる活性化を図るとともに、これらの活動をおして、生徒の自主性、人間関係を築く力やリーダーシップを育成する。								
	各学科の教育目標に応じた指導の充実	学科の特色を踏まえた専門教科の学習をおして、簿記会計、IT、英語等における高度な資格取得や技能の習得を図り、将来、産業経済界や国際社会で活躍できるスペシャリストや地域産業の担い手など、志を持った人材育成の推進に努める。								
	安心して学校生活を送れる環境作り	本校の「いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめの未然防止に努めるとともに、早期発見による早期解決に向け、組織的な対応を進める。また、特別な支援を必要とする生徒はもちろん、一人一人の生徒の状況や個性に応じたきめ細かな対応に努め、安心して学校生活を送ることができる環境作りを進める。								
重点目標	具体的目標	具体的方策			最終評価	評価者	評価方法	評価基準値（目標数値等）	数値等（実績値）	
教務	授業内容の改善・充実を図り生徒の学力向上に努める	○電子黒板等、新校舎における学習環境を積極的に活用した授業を実施する。			職員	アンケート	A：概ね当てはまるが70%以上 B：概ね当てはまるが50%以上 C：概ね当てはまるが50%未満			
		○生徒の学習意欲等の把握に努める。					生徒	アンケート		A：概ね当てはまるが80%以上 B：概ね当てはまるが70%以上 C：概ね当てはまるが70%未満
	保護者・地域へ積極的に情報発信をする	○家庭学習の習慣化を図る。			生徒	アンケート（数値）			A：家庭学習2時間以上 B：家庭学習1時間以上 C：家庭学習1時間未満（最も多いもの）	
		○保護者向け進路講演会・合格者体験発表会への参加率の向上を図る。					数値	年度末数値	A：講演会・発表会参加50名以上 B：講演会・発表会参加30名以上 C：講演会・発表会参加30名未満	
	授業時間数の確保と自習時間の減少を図る	○Webページを活用し教育活動の積極的な公開を図る。			数値	年度末数値			A：Webページ更新年120回以上 B：Webページ更新年100回以上 C：Webページ更新年100回未満	
		○緊急時における生徒・保護者への情報伝達方法の充実を図る。					数値	年度末数値	A：会報・新聞併せて発行年5回以上 B：会報・新聞併せて発行年3回以上 C：会報・新聞併せて発行年3回未満	
	新校舎における学習環境等の調整に努める	○PTA会報や学校新聞の発行と内容の充実を図る。			保護者	アンケート			A：概ね当てはまるが80%以上 B：概ね当てはまるが70%以上 C：概ね当てはまるが70%未満	
		○単位履修に必要な授業時間の確保する。（教科32単位×35週＝1120時間）					数値	年度末数値	A：1140時間以上 B：1120時間以上 C：1120時間未満（1学年）	
	生徒指導	高校生として当たり前のことが当たり前にできるような、基本的な生活習慣の確立と社会性の育成に努める	○自習時間の減少を図る。			職員			アンケート	A：年間自習率1.0%未満 B：年間自習率1.0～1.25% C：年間自習率1.25%以上
			○情報の共有化と工夫を図り、定期的な整理を行う。				職員	アンケート		A：概ね当てはまるが80%以上 B：概ね当てはまるが50%以上 C：概ね当てはまるが50%未満
いじめや学校生活に対する悩みを持つ生徒への対応		服装・頭髪について、清潔感と爽やかさを大切にしながら、「生徒心得」の規定を遵守するよう、粘り強く丁寧に指導を継続する。			職員	アンケート			達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が A：80%以上 B：60%以上 C：60%未満	
		○恒常的な朝の校門指導により、遅刻防止の徹底と通学マナーの向上を図る。					生徒	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が A：80%以上 B：60%以上 C：60%未満	
生徒会行事の活性化		○チャイムと同時に授業開始するなど、職員の側が手本となることで、生徒に時間遵守の意識を高めさせる。			職員	アンケート			達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が A：80%以上 B：60%以上 C：60%未満	
		貴重品管理の徹底（不必要な物や高額の金品は持ち込まない）や、ロッカー・部室等の施設の徹底を図り盗難を無くす。					生徒	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が A：80%以上 B：60%以上 C：60%未満	
生徒会費の適切な運用		地域活動への参加・協力 ○学校の外周道路を清掃、花の手入れ（生活委員や学年） ○町内清掃への参加（部活動） ○町内への支援（駅前清掃、お祭り協力、除雪協力など）			数値	実施回数			A：10回以上 B：7回以上 C：7回以下	
		教師と生徒、生徒と生徒の間でお互いを思いやり尊重し、生命や人権を大切にす好ましい人間関係づくりに努める。					職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が A：80%以上 B：60%以上 C：60%未満	
進路指導		いじめなどの問題について、その重大性を全教職員が認識し、情報を共有し共通理解の上で、学校全体で組織的に対応する体制を整える。また、課題を持つ生徒に対して、担任を中心に悩みを相談しやすい雰囲気醸成するよう努める。			生徒	アンケート			達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が A：80%以上 B：60%以上 C：60%未満	
		学校により、学級通信、PTAの会合、個別面談などを通じて学校と保護者が常日頃から情報交換を行い、連携して問題解決に取り組む体制を整える。					職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が A：80%以上 B：60%以上 C：60%未満	
図書利用の促進	いじめに関するアンケートを年2回以上実施するとともに、生徒に対する個別面談を年2回以上実施し、いじめや生徒の悩みの早期の発見に努め、迅速な解決を図る。			数値	アンケート	A：2回以上 B：1回 C：なし				
	行事計画立案に際し、①生徒の意欲的・積極的な関わりを生む ②職員の指導体制が有効に働くことに配慮する。生徒会執行部及び各部署との事前打合せを密にし、学校全体で共通認識のもと運用できるように配慮する。					生徒	アンケート	A：2回以上 B：1回 C：なし		
管理保健	各行事後、生徒と職員双方にアンケートを実施する。これにより行事の改善点を明確にして、より良い行事のあり方を検討する雰囲気作りを努める。			職員	承認			予算の執行状況ならびに年度内の実績をふまえた次年度の予算編成について、適切であるか承認を受けて A：承認された B：承認されなかった		
	部活動の活性化を支援する。そのための社団法人と表形式を計画し実施する。また、応援部の指導を適切に行うことで、生徒の連帯感や意欲の向上を図る。					生徒	承認	予算の執行内容は適切であり、監査も適切であったと、生徒総会で承認を受ける。 A：適切であった B：適切でなかった		
図書利用の促進	HR年間計画や長期休業中における部活動の練習計画を把握し、全体に提示することで様々な活動が円滑に行われるように図る。また、部活動の加入状況や大会成績など、適宜情報を収集し提供する。			生徒会	アンケート			事前打合せが十分なされたかの質問に4段階で2段階以上が A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満		
	生徒会誌の適切な編集と発行を通して、様々な情報の発信と学校生活の活性化への一助となるよう努める。					数値	実回数	「行事に主体的に参加できたか？」の質問に、4段階で2段階以上が A：70%以上 B：60%以上 C：60%未満		
管理保健	各クラブの予算が適切に執行されるように、活動費の管理と運用状況を常に把握する。また、各クラブの活動状況を考慮し、適切な予算編成を行う。			職員	承認			「適切な情報提供ができたか？」の質問に、4段階で2段階以上が A：70%以上 B：50%以上 C：50%未満		
	生徒会費全体の年度予算が適切に執行されたことを監査する。また生徒総会を開き、監査報告を行い承認を得る。					生徒	承認	予算の執行内容は適切であり、監査も適切であったと、生徒総会で承認を受ける。 A：適切であった B：適切でなかった		
管理保健	活動のPR（連携） 草原祭のポスター作成を行い、生徒主体で近隣に配布しPR活動を行う。			生徒会	数値			近隣にポスターの配布を行う。その配布枚数が A：25枚以上 B：20枚以上 C：20枚未満		
	自己実現の達成 生徒が「進路の手引き」を十分活用できるように指導する。					生徒	アンケート	十分活用できたかの質問に、4段階で3以上の生徒が、A：70%以上、B：60～69%、C：0～59%		
進路指導	「進学だより」を適宜発行して、進学に関する情報を提供し、意識を高める。			生徒	アンケート			意識が高まったかの質問に、4段階で3以上の生徒が、A：70%以上、B：60～69%、C：0～59%		
	進学講演会や、個別懇談会を利用して、進学意識を高める。					数値	発行数	A：10回以上、B：7回以上、C：0～6回		
進路指導	進学意識の啓発や、その実現をめざす学習計画作成のための資料を提供する。			生徒	アンケート			意識が高まったかの質問に、4段階で3以上の生徒が、A：70%以上、B：60～69%、C：0～59%		
	学力の向上 大学入試に対応できる学力を付けさせるように指導する。					担任	アンケート	十分な資料が提供できたかの質問に、4段階で3以上の担任が、A：70%以上、B：60～69%、C：0～59%		
就職指導	情報・データの整理と有効活用 卒業生の受験結果等を分析し、進学指導に役立てる。			数値	進学達成率			大学進学達成率が、A：90%以上、B：85～89%、C：0～84%		
	職業観の育成 職場見学（1年生）、ジュニアインターンシップ（2年生）、就職ガイダンス・社会人準備セミナー（3年生）、校内進路説明会（各学年）等を通じ、生徒の就職に対する意識を高める。					生徒	アンケート	役に立ったかの質問に、4段階で3以上の生徒が、A：70%以上、B：60～69%、C：0～59%		
就職指導	就職に関する情報の提供 企業やハローワークとの連携を強化し、就職に関する情報の収集に努め、進路の手引き、進路説明会、面接指導、就職だより等を通じ適切に提供する。			職員	アンケート			役に立ったかの質問に、4段階で3以上の職員が、A：70%以上、B：60～69%、C：0～59%		
	就職支援の充実 就職希望者全員の採用内定を目指し、学年・教科と連携し、履歴書作成指導、面接指導等に当たる。特に公務員志望者については、模擬試験や、専門学校が実施するセミナーなども積極的に活用する。					就職指導部 3年担任	アンケート	A：よくあてはまるが100% B：概ねよくあてはまるが70%以上 C：概ねよくあてはまるが70%未満		
管理保健	校内外の美化・清掃用具の整備（管理） ○校内清掃の実態を把握し、改善を図る。 1年を通じ清掃目標を設定し、清掃指導の徹底と奉仕意識の向上を図る。 ・「机・椅子のよごれ落とし及び靴先のごみ取り、安全点検」とする。 ・「窓および窓枠の清掃、安全点検」とする。 ・「壁の汚れ落とし、床のよごれ落とし、安全点検」とする。以上の流れをふまえ、今後の改善を図る。			職員	アンケート			実施状況が A：概ね達成が70%以上 B：概ね達成が60%以上 C：概ね実施が60%以下		
	エコ活動の啓発（清掃整備） ○ごみの分別指導 ごみステーションにおける分別状況の確認及び指導を行い、分別の徹底を図る。					職員	アンケート	実施状況が A：概ね達成が70%以上 B：概ね達成が60%以上 C：概ね実施が60%以下		
管理保健	健康の保持・増進（保健衛生） ○健康診断結果を利用し、疾病治療と規則正しい生活習慣を身につけさせる。生活改善カードを利用し、個別指導を充実させる。 精密検査受診を勧め、早期発見・早期治療に努める。 ○感染症の早期発見・早期対応により、感染症の感染拡大を防止する。 ①手洗い・うがい・マスク着用などの予防行動が、自主的に行える。 ②免疫力・抵抗力の向上（食事・睡眠・ストレスケアの実施） ③緊急時（新型コロナウイルス）の医療用品の整備、備蓄。			数値	アンケート			保健便り等による、保護者・職員・生徒への保健指導が A：70%できた B：60% C：60%以下 感染症の予防行動が、自主的にA：概ねとれる80%以上 B：概ねとれる70%以上 C：概ねとれる70%以下 基本的な生活習慣の確立A：70%以上 B：60%以上 C：60%以下 マスク、消毒薬、その他感染症対策用品の整備が A：70%できた B：60%できた C：60%以下		
	図書利用の促進 図書館を利用しやすいように整備する。					職員	アンケート	AED講習会受講率が A：70%以上 B：50%以上 C：50%以下 緊急時の対応について把握している職員 アレルギー研修会の受講率が A：60%以上 B：50%以上 C：50%以下		
図書利用の促進	図書館の資料の充実 授業に対応した適切な資料提供			数値	アンケート			図書館の資料は概ね充実していたと解答する職員 A：80%以上 B：70～79% C：70%未満		
	図書館を利用した授業の支援の充実					数値	アンケート	図書館からの資料提供は概ね適切だったと解答する職員 A：80%以上 B：70～79% C：70%未満		
図書利用の促進	図書館広報活動の充実 図書館報の発行			数値	年度末数値			授業時数 A：40時間以上 B：20～39時間 C：20時間未満		
	視聴覚設備・素材の有効利用 視聴覚教室の有効利用の促進 視聴覚教材の効果的な利用促進					数値	年度末数値	年間使用時数 A：150時間以上 B：100～149時間 C：99時間未満		
図書利用の促進	図書館報の発行			数値	年度末数値			発行回数 A：6回以上 B：3～5回 C：3回未満		
	視聴覚設備・素材の有効利用 視聴覚教室の有効利用の促進 視聴覚教材の効果的な利用促進					数値	年度末数値	教職員の利用要求に応じた割合 A：90%以上 B：75～89% C：75%未満		

1 学年	①基本的学習習慣の確立を図る	○朝学習およびSHRに遅刻をせず、気持ちの良い一日の始まりを迎えさせる。5分前行動を心掛ける。	数値	年度末数値	A: SHR時の出席率98%以上 B: SHR時の出席率98%未満~96%以上 C: SHR時の出席率96%未満
		○登下校時及び授業の開始終了の挨拶および廊下で挨拶をさせる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○高校生らしい正しい制服の着用(頭髪等も含む)をさせる。バッジ・ネクタイの着用を励行させる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
2 学年	②学習習慣の定着と時間の確保及び学力の向上を図る	○朝学習に主体的に取り組み、学習内容の定着、確認を図る。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○授業では私語・居眠りをせず、積極的に授業に参加する。	数値	年度末数値	A: 朝学習の提出率95%以上 B: 朝学習の提出率95%未満~85%以上 C: 朝学習の提出率85%未満
		○家庭で学習時間を確保し、提出課題にきちんと取り組む。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
3 学年	③家庭と学校との連絡・連携を密に図り、生徒理解に努める	○学年だよりを発行し、情報の提供を図る。	保護者	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
2 学年	①基本的学習習慣の確立と社会性の育成を図る	○SHRに遅刻をせず、気持ちの良い一日の始まりを迎えさせる。	数値	年度末数値	A: 出席率99%以上 B: 出席率98%以上 C: 出席率98%未満
		○登下校時及び授業の開始終了の挨拶はもちろん、廊下等で気持ちのよい挨拶をさせる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○新入生らしい、正しい制服の着用(頭髪等も含めめだしなみ)をさせる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○教室内及びロッカーの私物の整理整頓とゴミの分別を正しく行わせる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○朝学習を実施し、学習習慣を身につけ、学習内容の確認をさせる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○授業では私語・居眠りをせず、積極的に授業に参加させる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○家庭での提出課題にきちんと取り組ませる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○インターンシップを実施し、職業意識の啓発と職業観を育成する。	数値	年度末数値	A: 民間就職希望者の参加率90%以上 B: 参加率80%以上 C: 参加率80%未満
		○LHRなどで、「進路の手引き」を利用し、進路選択に役立てる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満
		○模擬試験や資格検定試験等には積極的にチャレンジさせる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満
3 学年	②学習時間の確保と学力の向上を図る	○学校・生徒会行事に積極的に参加させ、人間関係の育成に努める。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満
		○部活動等を通じて、精神的・肉体的な成長を図る。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○学年たよりを発行(年10回以上)し、情報の提供を図る。	数値	年度末数値	A: 8回以上 B: 5回以上 C: 5回未満
		○SHRに遅刻をせず、一日の始まりを気持ちよく迎えさせる。	数値	年度末数値	A: 出席率99%以上 B: 出席率98%以上 C: 出席率98%未満
		○登下校時・授業の開始終了の挨拶はもちろん、廊下で挨拶をさせる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○高校生らしい正しい制服の着用(頭髪等も含む)をさせる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		○教室の私物の整理整頓を正しく行わせる。	生徒	アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
		4 学年	③進路指導と連携し、生徒の進路実現を図る	○朝学習を実施し、学習内容の確認をする。また進路に向けた内容も組み入れ、小論文や一般常識の対策をする。	数値
○授業では私語・居眠りをせず集中し、積極的に授業に参加させる。	生徒			アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
○家庭では提出課題にきちんと取り組む。	生徒			アンケート	A: 概ね当てはまるが90%以上 B: 概ね当てはまるが80%以上 C: 概ね当てはまるが80%未満
○LHRなどで「進路の手引き」を利用し、進路決定に役立てる。	生徒			アンケート	A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満
○社会人としての準備のため、礼儀・言葉遣いを正しく行う。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○進路決定率は、年度内に100%の達成を目指す。	生徒			アンケート	A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満
○進路実現に検定が必要となることを再認識させ、検定取得の意欲を持たせる。	数値			年度末数値	A: 100% B: 95%以上 C: 95%未満
○学年たよりを年8回以上発行し、情報の提供を図る。	生徒			アンケート	A: 概ね当てはまるが80%以上 B: 概ね当てはまるが70%以上 C: 概ね当てはまるが70%未満
○保護者面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
5 学年	④家庭と学校との連絡・連携を密に図り、生徒理解を図る			○保護者面談を年2回以上実施する。	数値
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		6 学年	⑤進路指導と連携し、生徒の進路実現を図る	○保護者面談を年2回以上実施する。	数値
○個別面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○保護者面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○個別面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○保護者面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○個別面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○保護者面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○個別面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○保護者面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
7 学年	⑥進路指導と連携し、生徒の進路実現を図る			○保護者面談を年2回以上実施する。	数値
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		8 学年	⑦進路指導と連携し、生徒の進路実現を図る	○保護者面談を年2回以上実施する。	数値
○個別面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○保護者面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○個別面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○保護者面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○個別面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○保護者面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○個別面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
○保護者面談を年2回以上実施する。	数値			年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
9 学年	⑧進路指導と連携し、生徒の進路実現を図る			○保護者面談を年2回以上実施する。	数値
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○保護者面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし
		○個別面談を年2回以上実施する。	数値	年度末数値	A: 2回以上 B: 1回以上 C: なし